

警察庁によると、2025年上半年の特殊詐欺の被害は、暫定値で過去最悪の1万3213件で前年同期比4256件増、被害額は前年同期の約2・6倍の約597億3000万円に上りました。

警察官を装ってスマートフォン

などに電話をかけ、LINEなどに誘導する「ニセ警察詐欺」の手口が4割弱で、若者も標的にされています。ニセ警察詐欺は4737件に上り、被害額は約389億3000万円。被

特殊詐欺過去最悪

害者の年代は幅広く、30歳代が最多の20・5%、20歳代18・7%、60歳代14・2%。約7割は携帯電話の着信が入り口になり、その後LINEなどのSNSに誘導し、ニセの警察手帳や逮捕状の画像を

送信。「犯罪に関与しているか判断

する」などとウソを言って、現金や暗号資産を振り込ませるのが主な手口となっています。身に覚えのない着信番号には十分注意しましょう。

防犯一口メモ